

4月7日 2013(平成25年)主日礼拝

礼拝開始：午前10時50分

牧師就任 礼拝

司 会：赤塚敏郎兄
 奏 楽：片岡立子姉
 おいのり：加藤由美子姉
 さんび：新聖歌 343「罪に満てる世界」
 使徒信条
 聖 書：ヨハネによる福音書 6章 8～14節
 (朗読：持田樹理姉)
 音 楽：瀬戸カルバリーチャペル女声クワイア
 (父なる神のさずけまし)
 メッセージ：「腹ごたえあり手ごたえあり」
 (倉地 契 牧師)
 賛美と献金：♪ 「明日はどんな日か」
 頌 栄：♪ 新聖歌 63 「父 御子 御霊の」
 祝 禱
 報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
 - 木曜祈禱会：朝10:30
 - 土曜準備祈禱会：朝 10:00～ 10:30～ 会堂清掃
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
 - Aコース：ルカ 7章～10章
 - Bコース：土師記 3章～19章
- ◇ 今日、礼拝後 倉知契牧師 就任記念 愛餐会です。
- ◇ 来聖日は 聖餐式です。

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年4月14日) [聖餐式]
 [司会：小木秀夫兄、いのり：下岡晶子姉、聖書朗読：赤塚孝子姉]
 [ピアノ：米田 香姉、ギター：大神 雄兄]
 [アシスト：加藤由美子 & 大神美乃姉]
 [献金：大神久美姉、受付：平松友子姉]
 ◇PA：平松章治兄 ◇週報編集：片岡洋一兄
 ◇ホームページ編集：大神真伸兄



石の枕

「菜の花」

暗い夜がふけるのは 明るい朝が近づくため
 寒い冬がきびしくなるのは 暖かい春がおとずれるため
 いたみがはげしいのは いやされつつあるため
 かなしみが加わるのは なぐさめが大きいため
 アルプスのかたい積雪は ふもとの菜の花からとける

あらためて皆様に、心を込めてご挨拶いたします。大和カルバリーチャペルから遣わされてまいりました、担任牧師の倉知契です。妻めぐみと息子日々喜(4ヶ月半)を置いて(時には連れて!?)、毎週土曜、日曜とこの瀬戸の街にやって参ります。何が出来るかもまったくわかりません、足りない小さな僕ですが、アルプスのふもとの「菜の花」になれたらと、そんな風に祈っています。イエス様を愛し、主の教会である瀬戸カルバリーチャペルを愛し、忠実に礼拝を守り、ご奉仕しておられる皆様に、心から尊敬します。皆様とゆっくりお話し、お祈りさせていただきたいと願っています。

冒頭の詩は、岡山市の玉島というところで牧師をしておられた河野進先生の作品です。最近、詩集「ぞうきん」が幻冬舎から発売されました。『置かれた場所で咲きなさい』で大ヒット中の渡辺和子シスターが「はじめに」の中で、河野先生の詩は、お説教ではなく、平易な言葉でありながら、日頃、忘れがちになちよとした心掛けを思い出させてくれるものでした…と書いています。

毎週、この瀬戸カルバリーチャペルの講壇でメッセージさせていただけることは、光栄ではありますが、大きな責任とプレッシャーも感じています。主を畏れています。どうか、砕かれた器として、人の心に届く聖書のお話ができますように皆様お祈りください(ヨハネ福音書3章34節)。み言葉の種が、花を咲かせ、実を結んでゆくときに、お一人ひとりの人生に新しい季節が訪れるのだと信じて、期待します。

これから毎週お目にかかります。どうぞ宜しくお願い致します！

瀬戸カルバリーチャペル担当牧師 倉地 契

「ところが、目をあげてみると、石はすでにころがしてあった。この石は非常に大きかった。」
 (マルコ十六の四)